

VIII. 参考資料

1. 消費者アンケートの調査内容

1.1 事前調査

リユースショップ・中古品販売店の利用経験

(問1) あなたは過去1年の間に、中古品(新古品を除く。また、中古自動車ならびに、骨董品、中古住宅を除く)^{※1}の購入、不要品の売却・引渡しを行ったことがありますか？当てはまるもの全てに○を付してください。

【中古品の購入】

1. リユースショップ・中古品販売店^{※2}
2. ネットオークション
3. 小売店・量販店の中古品販売コーナー
4. 市町村等のリサイクルプラザなど
5. 利用したことはない

【不要品の売却・引渡し】

1. リユースショップ・中古品販売店
2. ネットオークション
3. 新製品の購入時に小売店・量販店
4. 市町村等のリサイクルプラザなど
5. 利用したことはない

※1：ここでの中古品は「過去にあなた以外のユーザーが利用・使用していた商品」と想定してください。「新古品」(一般にメーカーや販売店が倒産するなどした際に存在した在庫品や、未使用のまま転売された商品などを指す)は本調査の対象外とします。

※2：ここで「リユースショップ・中古品販売店」とは、個人経営・フランチャイズチェーンに関わらず、中古品の販売・買取を行っている店舗を指します。中古自動車の下取り・販売を取り扱うディーラーなどは対象外とします。

過去1年における中古品の購入経験

(問2) あなたは過去1年の間に、下記に示す製品について、中古品(新古品を除く)^{*1}を購入したことはありますか?(各品目について、中古品の購入実績を回答)

【製品の品目】

1. テレビ 冷凍庫	2. エアコン	3. 電気洗濯機・乾燥機	4. 電気冷蔵庫・ 冷凍庫
5. 家具	6. 衣類	7. デジタルカメラ	8. 携帯電話
9. ゲーム機	10. パソコン・周辺機器	11. 書籍	12. 自転車
13. カー用品	14. その他		

※品目について

「9. ゲーム機」は、ハードウェア(ポータブルも含む)を対象とします。ゲームソフトについては、「14. その他」に含めてください。

「10. パソコン・周辺機器」は、本体のほか、周辺機器も対象とします。OSやアプリケーションソフトなどは「14. その他」に含めてください。

「13. カー用品」は、カーオーディオ、カーナビ、タイヤなどが対象となります。

「14. その他」は、中古自動車、骨とう品(絵画、書画、掛け軸、器、刀剣、仏像など)は除くものとし、例えば、以下のような品目が対象となります。中古スポーツ用品(ゴルフなど)、中古楽器、中古CD、中古ゲームソフト、中古生活雑貨(ベビー用品など)などを想定しています。

【選択肢】

- ・過去1年の間に中古品を購入したことがある。
- ・過去1年の間に中古品を購入したことはない。

中古品の購入意向

(問3) 下記に示す製品について、今後新たに必要になったとき、中古品(新古品を除く)で購入しても良いと考えますか?(各品目について、今後の中古品購入意向を回答)

【製品の品目】

1. テレビ 冷凍庫	2. エアコン	3. 電気洗濯機・乾燥機	4. 電気冷蔵庫・ 冷凍庫
5. 家具	6. 衣類	7. デジタルカメラ	8. 携帯電話
9. ゲーム機	10. パソコン・周辺機器	11. 書籍	12. 自転車
13. カー用品	14. その他		

【選択肢】

- ・中古品を購入してもよい。
- ・中古品を購入したくない。

中古品に対する認識

(問4) 最後に、中古品についてのあなたの認識を教えてください。以下の選択肢、当てはまるものに全てを選択してください。

1. 中古品は新品より安い価格で購入できる
2. 中古品の方が環境に優しい
3. 中古品の汚れやキズはあまり気にしない
4. 生産終了してしまったもの、中古品でないと入手できないものが購入できる
5. 新品・中古品に対するこだわりはない
6. 限定された期間だけ使いたいときに中古品を選ぶ
7. すでに同種の製品を持っているときに中古品を選ぶ（例えば、同じ製品の2台目は中古品でも良いと考えるなど）
8. 中古品だと求めている機能が十分には得られない
9. 中古品はすぐに故障しそう
10. 中古品は偽物の可能性がありそう
11. 中古品は他の人が使用したものだからあまり使いたくない
12. 汚れや臭いなどが気になるから中古品は買わない
13. 中古品は目的の製品を探すのが大変だからあまり買わない
14. 近隣に中古品を購入できる店舗が少ない
15. 中古品は故障等があったときの保証・サポート体制に不安がある
16. 中古品を使っていることに対する他人の目が気になる中古品は買わない
17. その他

1.2 本調査

※事前調査において、過去1年間に中古品の購入経験があったモニターを対象に実施。

中古品の購入状況（品目別）

（問1）過去1年の間に、以下の品目のうち、中古品（新品を除く）※1を購入したことがある品目について、以下の問に回答してください。（当てはまるものすべてを選択）

※以下の問では、転売を目的とした購入分は除いてください。（個人・家族で利用するものに限定）

1. テレビ	2. エアコン	3. 電気洗濯機・乾燥機	4. 電気冷蔵庫・冷凍庫
5. 家具	6. 衣類	7. デジタルカメラ	8. 携帯電話
9. ゲーム機	10. パソコン・周辺機器	11. 書籍	12. 自転車
13. カー用品	14. その他		

※1：ここでの中古品は「過去にあなた以外のユーザーが利用・使用していた商品」と想定してください。「新品」（一般にメーカーや販売店が倒産するなどした際に存在した在庫品や、未使用のまま転売された商品などを指す）は本調査の対象外とします。

※2：品目について

「9. ゲーム機」は、ハードウェア（ポータブルも含む）を対象とします。ゲームソフトについては、「14. その他」に含めてください。

「10. パソコン」は、本体のほか、周辺機器も対象とします。OSやアプリケーションソフトなどは「14. その他」に含めてください。

「13. カー用品」は、カーオーディオ、カーナビ、タイヤなどが対象となります。

「14. その他」は、中古自動車、骨とう品（絵画、書画、掛け軸、器、刀剣、仏像など）は除くものとします。例えば、以下のような品目が対象となります。中古スポーツ用品（ゴルフなど）、中古楽器、中古CD、中古ゲームソフト、中古生活雑貨（ベビー用品など）などを想定しています。

過去1年の間に、中古品を購入したことがある人にお伺い致します。過去1年間に購入した量（台数または利用回数）、およびその購入総額を購入先別に記入してください。（購入経験ある品目すべてを回答）

（1～10までは、台数及び購入総額のいずれも）

	1. テレビ		2. エアコン		3. 電気洗濯機		...
	購入台数	購入総額	購入台数	購入総額	購入台数	購入総額	...
1. リユースショップ・中古品販売店で購入した							...
2. ネットオークションで購入した							...
3. フリーマーケット・バザーで購入した							...
4. その他（自治体のリサイクルプラザ、知人・親戚等から譲りうけるなど）							...

※「6. 衣類」の場合には、利用回数、購入総額。

(11～14までは、購入総額のみ)

	11. 書籍	12. 自転車	13. カー用品	14. その他
	購入総額	購入総額	購入総額	購入総額
1. リユースショップ・中古品販売店で購入した				
2. ネットオークションで購入した				
3. フリーマーケット・バザーで購入した				
4. その他(自治体のリサイクルプラザ、知人・親戚等から譲りうけるなど)				

※「14. その他」については、おおよそで結構です。

中古品の購入理由 (品目別)

(問2) 過去1年の間に、中古品を購入したことがある人にお伺い致します。中古品を購入した理由を回答してください。(購入経験のある品目すべてを回答)

	1. テレビ	2. エアコン	3. 電気洗濯機	4. 電気冷蔵庫	...
1. 安い価格で購入できるから					...
2. 中古品の方が環境に優しいから					...
3. 限定された期間だけ使いたいから					...
4. 汚れやキズはあまり気にしないから					...
5. 生産終了してしまったもの、中古品でないと入手できないものが購入できるから					...
6. 新品・中古品に対するこだわりがないから					...
7. すでに同種の製品を持っているから (例えば、同じ製品の2台目は中古品でも良いと考えたなど)					...
8. その他					...

不要となった製品（使用しなくなった製品）品の販売・引渡しの状況

（問3）過去1年の間に、以下の品目について、不要となった製品（使用しなくなった製品）はありますか。あなたの自宅で不要になった（使用しなくなった）製品の個数を記入してください。（当てはまるものすべてを選択）

（以下の品目について、個・台・冊で回答）

1. テレビ	2. エアコン	3. 電気洗濯機・乾燥機	4. 電気冷蔵庫・冷凍庫
5. 家具	6. 衣類	7. デジタルカメラ	8. 携帯電話
9. ゲーム機	10. パソコン・周辺機器	11. 書籍	12. 自転車
13. カー用品			

（問4）不要になった（使用しなくなった）製品はどのようにしましたか。

【不要となった（使用しなくなった）製品の引渡先】

1. 自宅・物置等で保管（使用はしていないが家に置いてある）
2. 新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却した（下取りなど）
3. その他の小売店に引渡し・売却した（近所・身近にある商店など）
4. リサイクルショップ・中古品販売店に売却した
5. 自治体に引渡した（市町村にごみとして廃棄）
6. 廃品回収業者に引渡した（軽トラック等で市中を巡回しながら不要品の回収を行っている業者）
7. 引っ越し業者に引渡した
8. バザー・フリーマーケット等で売却した
9. インターネットオークションで売却した
10. 友人・知人に譲渡・売却した
11. その他

(問5) 不要になった(使用しなくなった)製品の引渡し費用は

【不要となった(使用しなくなった)製品の引渡先】

※無償・無料の場合は「0円」と回答

お金を受け取って引渡した(販売した)場合の費用

販売した場合 _____ 円/個(台、冊)

お金を支払って引渡した(処理費用を負担)場合の費用

処理費用がかかった場合 _____ 円/個(台、冊)

引渡し先を選んだ理由

(問6) 不要になった(使用しなくなった)製品の引渡し先を選んだ理由は何ですか。当てはまるもの全てに○を付してください。

【引渡し先を選んだ理由】

1. 金銭的な理由(お金が得られる、引き渡す際に支払う費用が安くすむなど)
2. 煩雑な手続きや準備をしなくてすむから
3. 自分で運搬する必要がなく、家まで取りに来てくれるから
4. まだ使用する人がいれば有効に利用して欲しかったから
5. たまたまそのような機会があったから
6. 誰に引き渡せば良いか分からなかったから
7. 適切な引渡し先と考えたから
8. 適切に処理・リサイクルされそうだったから
9. 新製品への買い替えの際に小売店からリユースを勧められたから
10. その他

【引渡し先を選んだ一番の理由】

上記の回答のうち、一番の理由(引渡し先を選ぶ際に一番影響のあった理由)を1つ選んでください。

5. 既往のリユースに関する消費者アンケート調査

(1) 「リサイクルショップの利用に関する意識調査」(内閣府、平成12年)

内閣府(旧:経済企画庁)が物価モニター2400人を対象に、中古品やリサイクル店の利用状況について調査した。リユース品の購入意向としては「安く購入できる」が最も多く、また「地球の環境や資源の有効利用を考えて」という回答も全品目で10%を超えている。一方、購入しない理由としては「他人の使用したものに抵抗」、「欲しいものがない」との回答が多くなっている。

表78 「リサイクルショップの利用に関する意識調査」の実施概要

<p>【調査方法】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成12年8月、郵送調査・物価モニター2,400人 うち回答者2,339人(回収率97.5%) <p>【主な調査項目】</p> <ul style="list-style-type: none">・家電製品、家具、食器類、衣料品、子供服、身の回り品、書籍・CD、玩具等の子ども用品を対象・リサイクルショップの利用状況・今後の購入・販売の意向及び理由・品物の状態/品物の型式と購入意欲・価格(市販価格の○割)と購入・販売意欲/など
--

資料)「リサイクルショップの利用に関する意識調査」(内閣府(旧:経済企画庁)、平成12年)より作成
(<http://www5.cao.go.jp/2000/d/1128d-monitor/main.html>)

表79 「リサイクルショップの利用に関する意識調査」の結果概要

<ul style="list-style-type: none">○日頃買物をする地域にリサイクルショップがあるか尋ねたところ、多くの品目について過半数の回答者が『ある』と答えている。また、ほとんどの種類のリサイクルショップについて、過半数の回答者がここ3~4年『増加している』と見ている。○リサイクルショップでの購入・販売の経験は、「書籍・CD」、「衣料品」で多くなっており、ショップの形態は、「書籍・CD」、「家電製品」などでは、リサイクル専門店が多く、「食器類」、「子供服」、「衣料品」では、フリーマーケット等の個人売買が多くなっている。○今後の利用意向を見ると、全ての品目について、購入意向、販売意向は、ここ3~4年の利用経験を上回っており、「家具」などでは特に大きく上回っている。○今後の購入を考えてみたい理由としては、『安く購入できる』が最も多いが、アンティーク的な良さも「家具」等では大きな理由になっている。また、『地球の環境や資源の有効利用を考えて』という理由も、全ての品目で10%を超えている。○品質と購入意欲の関係を見ると、多くの品目で、『キズ・汚れ等が良く見なければわからない』状態ならば、購入を検討するという回答が多くなっている。○価格と購入販売意欲の関係を見ると、購入する場合には市販価格の『5割以下』とするものが最も多く、売る場合には、購入価格の『3割くらいなら』とするものが最も多い。市販価格、購入価格の5割を境に集計すると、購入意欲、販売意欲ともかなり高くなる。

資料)「リサイクルショップの利用に関する意識調査」(内閣府(旧:経済企画庁)、平成12年)より引用
(<http://www5.cao.go.jp/2000/d/1128d-monitor/main.html>)、下線は三菱UFJリサーチ&コンサルティング

(2) 「環境問題に関する世論調査」(内閣府、平成 21 年)

環境問題に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とするため内閣府が実施した調査であり、調査員による個別面接聴取法で 1,919 人からの回答を得ている。

「再利用や再生利用のために行っていること」という設問において、「中古品を利用している」との回答は 17.0% (平成 17 年調査比、9.9 ポイント増)、「不用品を、中古品を扱う店やバザーやフリーマーケットで売っている」は 16.1% (同 2.2 ポイント増)、「インターネットオークションに出品したり、落札したりするようにしている」は 8.3% (平成 17 年調査では設問なし) となっている。

表 80 「環境問題に関する世論調査」の実施概要

【調査方法】	
・平成 21 年 6 月 4 日～ 6 月 14 日	
・母集団：全国 20 歳以上の者	
・標本数：3,000 人 (層化 2 段無作為抽出法)	
・調査員による個別面接聴取法	
【回収結果】	
・有効回収数 (率)：1,919 人 (64.0%)	
【調査内容】	
・(1)循環型社会に関する意識について	
※「再使用や再生利用のために行っていること」において中古品に関する設問あり	
・(2)自然共生社会に関する意識について	

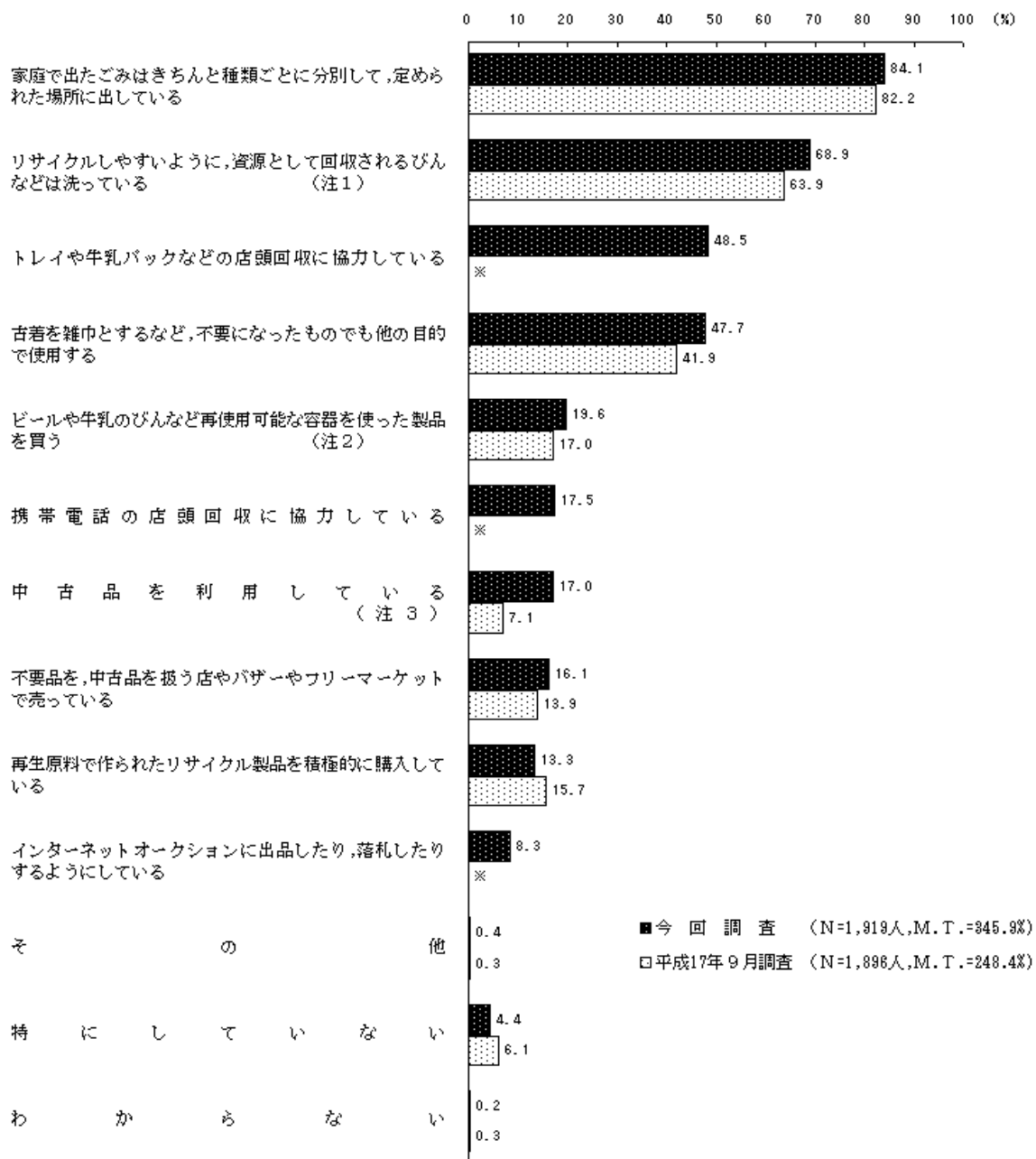
資料)「環境問題に関する世論調査」(内閣府大臣官房政府広報室、平成 21 年)より作成
(<http://www8.cao.go.jp/survey/h21/h21-kankyou/index.html>)

表 81 性・年齢別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率		
			%				%		
男	20～29歳	193	74	38.3	女	20～29歳	162	75	46.3
	30～39歳	266	148	55.6		30～39歳	257	157	61.1
	40～49歳	229	128	55.9		40～49歳	232	168	72.4
性	50～59歳	252	169	67.1	性	50～59歳	249	181	72.7
	60～69歳	296	214	72.3		60～69歳	312	249	79.8
	70歳以上	236	153	64.8		70歳以上	316	203	64.2
計	1,472	886	60.2	計	1,528	1,033	67.6		

資料)「環境問題に関する世論調査」(内閣府大臣官房政府広報室、平成 21 年)より引用
(<http://www8.cao.go.jp/survey/h21/h21-kankyou/index.html>)

(複数回答)



(注) 平成17年9月調査では、「あなたは日頃、ごみや、一度使ったものが再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)がされやすいように、心がけていることはありますか。」と聞いている。

(注1) 平成17年9月調査では、「リサイクルしやすいように、資源ごみとして出すびんなどは洗っている」となっている。

(注2) 平成17年9月調査では、「びん牛乳など再使用可能な容器を使った製品を買う」となっている。

(注3) 平成17年9月調査では、「新製品は買わずに、中古品を利用している」となっている。

図 102 再使用や再生利用のために行っていること

資料)「環境問題に関する世論調査」(内閣府大臣官房政府広報室、平成21年)より引用
(<http://www8.cao.go.jp/survey/h21/h21-kankyou/index.html>)

(3) 循環型社会形成に向けた意識・行動の変化（環境省、平成 22 年）

第二次循環型社会形成推進基本計画の進捗状況の第 2 回点検結果において、国民の循環型社会形成に対する意識・行動の変化について、インターネットによるアンケート調査によって把握をしている（回答数 1,000）。

毎年実施されている調査であり、平成 21 年度調査においては、内閣府の「環境問題に関する世論調査」（平成 21 年 6 月）において循環型社会に関する調査を実施したため、世論調査とインターネットによる調査との回答を比較することを優先し、設問及び選択肢を世論調査に合わせる形で調査が実施されている。

平成 21 年度において、「インターネットオークションに出品したり、落札したりしている」との回答は 28.4%、「中古品を扱う店やバザーやフリーマーケットで売買するようにしている」は 21.0%となっている。いずれも平成 20 年度よりも 2～3 ポイント程度減少している。

中古品利用において、インターネットオークションでの取引の方が、リユースショップやフリーマーケット等の利用に比べて高くなっている（7.4 ポイント高）。

表 82 循環型社会形成に向けた意識・行動調査の調査概要

	平成 19 年度調査	平成 20 年度調査	平成 21 年度調査	世論調査
調査方法	インターネット調査	インターネット調査	インターネット調査	個別面接聴取法
調査期間	平成 19 年 8 月～9 月中旬	平成 20 年 9 月 11 日 ～平成 20 年 9 月 16 日	平成 21 年 11 月 12 日 ～平成 21 年 11 月 14 日	平成 21 年 6 月 4 日 ～平成 21 年 6 月 14 日
調査対象	20 歳代～70 歳以上の男女	20 歳代～70 歳以上の男女 (Yahoo!リサーチ・モニター)	20 歳代～70 歳以上の男女 (Yahoo!リサーチ・モニター)	20 歳以上の者
居住地域	地域区別に、平成 17 年度国勢調査の人口比率を反映して抽出	地域区別に、平成 17 年度国勢調査の人口比率を反映して配信調整	地域区別に、平成 17 年度国勢調査の人口比率を反映して配信調整	全国（層化 2 段無作為抽出）
有効回答数	1,232 名	1,055 名	1,000 名	1,919 名

出典) 「第二次循環型社会形成推進基本計画の進捗状況の第 2 回点検結果について」（環境省、平成 22 年）

表 83 リユースに関する主要な具体的行動例の変化

	H19 年度	H20 年度	H21 年度	世論調査
インターネットオークションに出品したり、落札したりするようにしている	23.9%	30.5%	28.4%	8.3%
中古品を扱う店やバザーやフリーマーケットで売買するようにしている	22.5%	23.8%	21.0%	16.1%

出典) 「第二次循環型社会形成推進基本計画の進捗状況の第 2 回点検結果について」（環境省、平成 22 年）
「循環型社会に関するアンケート調査」（環境省、平成 21 年 11 月実施）

(4) 「消費者の家電を手放す際の意識調査」 (平成 20 年)

消費者の家電 (テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機) を手放す際の意識等についてウェブアンケートで調査したものを。

家電量販店への引渡しが多く 6 割以上、次いで家電回収業者が 18% となっている。一方、消費者からリサイクルショップへは 3.2%、ネットオークションは 0.8% と、他と比べると少ない。品目ごとに傾向は異なり、テレビは家電回収業者への引渡しが多くなっている。

表 84 「消費者の家電を手放す際の意識調査」の実施概要

<p>【調査方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2007年3月29日～3月30日 調査会社の一般モニター1,000人(性別、居住地域、年齢層に極端な偏りがないよう配慮) インターネットによるウェブアンケート <p>【調査内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去1年間の間に、家電リサイクル法の対象4品目(エアコン、ブラウン管テレビ、電気冷蔵庫・電気冷凍庫、電気洗濯機)のいずれかを手放した経験を持つ1,000人を対象(有効回答1,000件)。 複数の家電製品を手放した経験がある場合は、1番最近に手放した家電製品について把握。
--

資料) 中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会家電リサイクル制度評価検討小委員、産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会電気・電子機器リサイクルWG 合同会合(第8回)資料2より作成

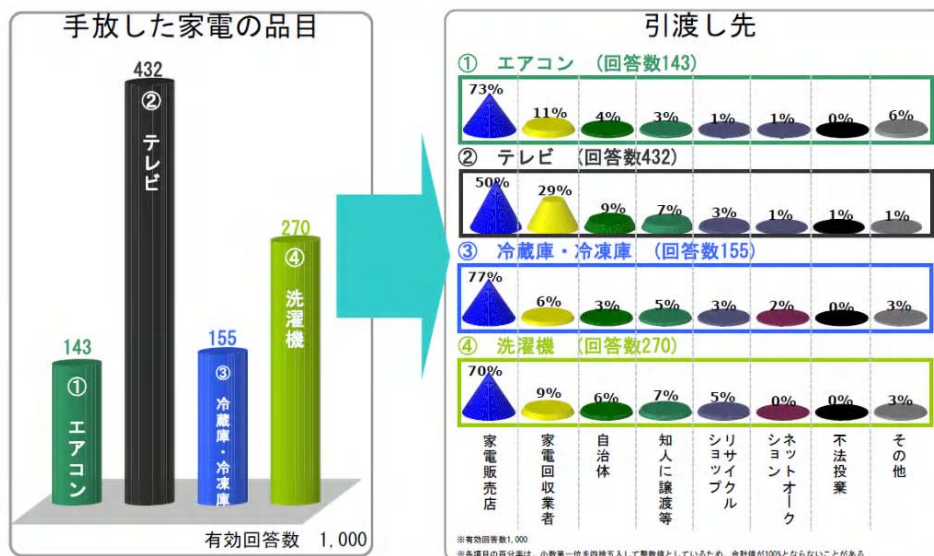


図 103 手放した家電の引渡し先について

資料) 中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会家電リサイクル制度評価検討小委員、産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会電気・電子機器リサイクルWG 合同会合(第8回)資料2より引用

(5) 「使用済み家庭用電気・電子機器の回収及び適正処理の在り方に関する調査」(経済産業省、平成 21 年)

小型家電の購入・排出実態の把握及び、小型家電の排出に関する意向を把握するために一般消費者を対象としたアンケート調査。インターネットによるアンケート、30,000 件の予備調査を踏まえて、一定条件に合う 2,000 件を本調査している。

表 85 「使用済み家庭用電気・電子機器の回収及び適正処理の在り方に関する調査」
の実施概要

<p>■調査方法 インターネットによるアンケート調査(2008年12月実施)</p> <p>■調査対象品目 ビデオ、DVDデッキ、蛍光灯、携帯電話・PHS、電子レンジ、電気掃除機</p> <p>■調査項目 ・対象品目の購入場所、使用期間 ・使用しなくなってから手放すまでの期間 ・排出先及び排出先を選んだ理由 ・排出の際の費用 ・対象品目のリユース品への受容性</p>
--

資料)「中小企業等循環推進調査等委託費(使用済み家庭用電気・電子機器の回収及び適正処理の在り方に関する調査)」(経済産業省、平成 21 年 3 月)より作成

表 86 「使用済み家庭用電気・電子機器の回収及び適正処理の在り方に関する調査」
の結果概要

<p>■中古品の購入意向について ・蛍光灯を除く、ビデオ、DVDデッキ、携帯電話・PHS、電子レンジ、電気掃除機の4品目について、中古品で購入しても良いかという設問を行ったところ、「中古品は購入したくない」との回答が7~9割を占め、特に、携帯電話・PHSでは9割強(91.9%)となっている。</p> <p>■製品を引渡した先について ・5品目(ビデオ、DVDデッキ、蛍光灯、携帯電話・PHS、電子レンジ、電気掃除機)を対象に、小売店(新しい製品を購入した小売店、手放した製品を購入した小売店、近所にある小売店)、自治体、廃品回収業者、引越業者、リサイクルショップ/中古品販売店/バザー等、知人・友人、人目につかない場所に放置、といった選択肢で把握している。 ・結果を見ると、電子レンジ、電気掃除機、ビデオ・DVDデッキ、蛍光灯については「自治体」との回答が最も多く、次いで「新しい製品を購入した小売店」であった。また、携帯電話・PHSでは「新しい製品を購入した小売店」が7割強となっている。 ・リサイクルショップ/中古品販売店/バザー等、リユースされると思われる引渡しは、電子レンジ、電気掃除機、ビデオ・DVDデッキで3~5%程度となっている。</p>

資料)「中小企業等循環推進調査等委託費(使用済み家庭用電気・電子機器の回収及び適正処理の在り方に関する調査)」(経済産業省、平成 21 年 3 月)より作成

6. 商業統計の概要

1) 調査の対象

【地域】 全国

【単位】 事業所

【属性】 日本標準産業分類に掲げる「大分類J-卸売・小売業」に属する全国の事業所。

【調査対象数】 平成19年調査結果 1,550,196 事業所（回収率 96.4%）

2) 抽出方法

全数調査

調査員調査方式

経済産業省→都道府県→市町村→調査員→調査客体

本社等一括調査方式

経済産業省又は都道府県→調査客体

【配布方法】 郵送、調査員

【収集方法】 郵送、調査員

3) 調査事項

【卸売業、小売業について】

1. 事業所の名称及び電話番号、所在地
2. 経営組織及び資本金額又は出資金額
3. 本店・支店の別及び本店の所在地・電話番号
4. 事業所の開設時期
5. 従業者数等
6. 年間商品販売額等
7. 年間商品販売額の販売方法別割合
8. 商品手持額

【小売業に限っての事項について】

1. 年間商品販売額のうち小売販売額の商品販売形態別割合
2. セルフサービス方式採用の有無
3. 売場面積
4. 営業時間等
5. 来客用駐車場の有無及び収容台数
6. チェーン組織への加盟の有無

【法人事業所に限っての事項について】

1. 年間商品仕入額の仕入先別割合
2. 年間商品販売額のうち卸売販売額の販売先別割合

3. 企業全体の業種区分
4. 企業全体の商業事業所に関する事項
5. 商業事業所数、従業者数、年間商品販売額
6. 年間商品仕入額
7. 電子商取引の有無及び年間商品販売額・年間商品仕入額に占める割合

4) 調査の実施間隔

平成9年以降は5年ごとに本調査を実施し、その中間年（本調査の2年後）には簡易調査を実施することとしている。直近調査は平成19年の本調査となっている。

5) 公表の形式

種類	主な内容
第1巻産業編 (総括表)	主として産業分類別の従業者規模別、年間商品販売額階級別、売場面積規模別などの階級別統計表を掲載。
第2巻産業編 (都道府県表)	主として都道府県別、東京特別区・政令指定都市別の産業分類別統計表を掲載。
第3巻産業編 (市区町村表)	市区町村別の産業分類別統計表を掲載。
第4巻品目編	商品（品目）分類別の事業所数及び年間商品販売額表を掲載。

6) 商業統計におけるリユース品に関連する項目

■「業」としては、4つ（小売3つ、卸1つ）。

6097 中古品小売業（骨とう品を除く）

6096 骨とう品小売業

5812 中古自動車小売業

5323 自動車中古部品卸売業

※ただし、小売において、中古自転車は「5921 自転車小売業」、古書籍・古雑誌は「6041 書籍・雑誌小売業」の分類されてしまう。

※ただし、卸売において、中古自動車は「5321 自動車卸売業（二輪自動車を含む）」に分類されてしまう。

■「品目」としては、5つ（小売4つ、卸1つ）

58121 乗用車（中古）小売

58122 トラック（中古）小売

60961 骨とう品小売

60971 中古品小売（骨とう品を除く）

53231 自動車中古部品卸売

7) 産業編と品目編の集計方法について

ある事業所の年間商品販売額が次のような場合、

商品分類番号	商 品 名	年間商品販売額
56111	呉 服 ・ 服 地	700 万円
56311	婦 人 服	300 万円
60131	化 粧 品	800 万円
計		1800 万円

この事業所は、産業格付方法（「Ⅱ2.事業所の産業の決定方法※」）により「5611 呉服・服地小売業」に格付けされ、産業編（第1巻～第3巻）では事業所数「1」として計上される。

※まず、分類番号上位2桁で大分類を整理される。

産 業 分 類	事業所数	年間商品販売額
5611 呉服・服地小売業	1	1800 万円

一方、品目編（第4巻）では商品別に事業所数が計上されるので、上記の例においては、取扱商品「56111 呉服・服地」、「56311 婦人服」、「60131 化粧品」の各商品ごとに事業所数「1」が計上され、中分類「56」、「60」の事業所数の計は延事業所数となる。

産 業 分 類	56 織物・衣服・身の回り品小売業					
	計		56111 呉服・服地		56311 婦人服	
	延事業所数	年間商品販売額	事業所数	年間商品販売額	事業所数	年間商品販売額
5611 呉服・服地小売業	2	1000 万円	1	700 万円	1	300 万円

60 その他の小売業			
計		60131 化粧品	
延事業所数	年間商品販売額	事業所数	年間商品販売額
1	800 万円	1	800 万円

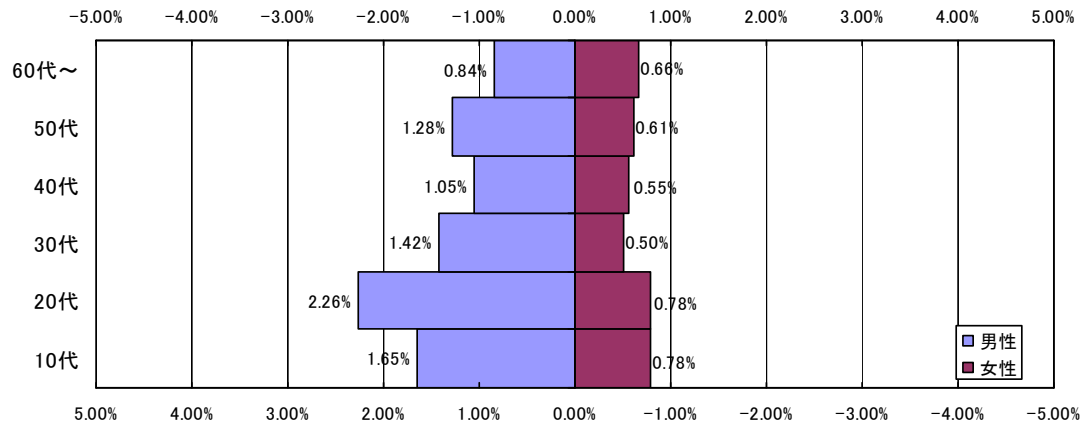
上記の分類方法によれば、産業分類が「6097 中古品小売業」以外であっても、品目として中古品小売を行っている事業者がいるため、リユース市場推計においては留意が必要である。（例えば、6052 がん具・娯楽用品・楽器小売業であっても、中古品小売が計上されている。）

8) 商業統計上の産業分類・商品分類

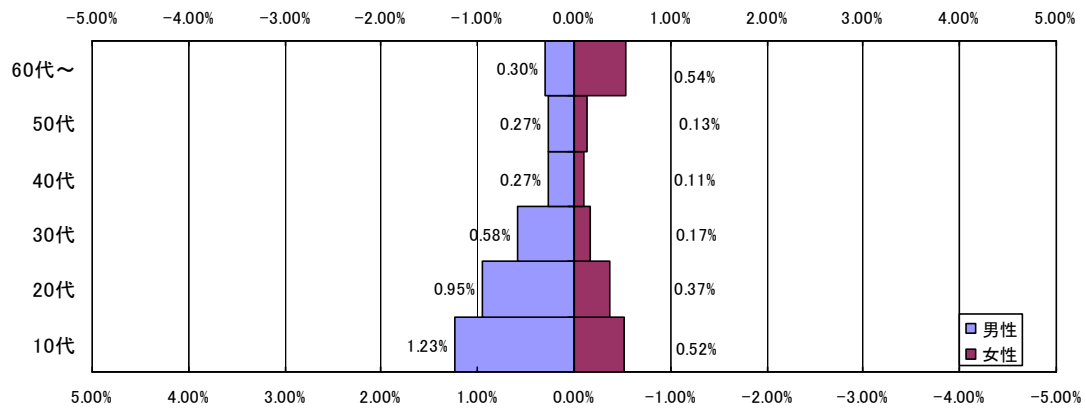
産業分類	商品分類
<p>6096 骨とう品小売業(Antique stores)主として骨とう品を小売する事業所をいう。 ○骨とう品小売業</p> <p>6097 中古品小売業（骨とう品を除く） (Miscellaneous secondhand stores, except antique stores) 主として中古の衣服、家具、楽器、運動用品、靴など他に分類されない中古品を小売する事業所をいう。 ○中古衣服小売業；古道具小売業；中古家具小売業；古建具小売業；古楽器小売業；古写真機小売業；古運動具小売業；中古靴小売業；古レコード小売業；中古家庭用電気機械器具小売業；中古CD小売業；中古電気事務機械器具小売業；中古ゲーム用ソフト小売業；リサイクルショップ ×くず物回収業〔5249〕；中古自動車小売業〔5812〕；中古自転車小売業〔5821〕；古本屋〔6041〕；中古荷車小売業〔6099〕；絵画小売業〔6099〕；古切手・古銭小売業〔6099〕</p>	<p>60961 骨とう品（小売） ○骨とう品（絵画、書画、掛け軸、器、刀剣、仏像など）</p> <p>60971 中古品（骨とう品を除く）（小売） ○中古衣服；古道具；中古レコード；中古楽器；中古CD；中古家具；中古家庭用電気機械器具など ×古書籍；古雑誌〔60411〕；中古車〔58121〕</p>

7. 年代別・性別による中古品購入者（出現率）

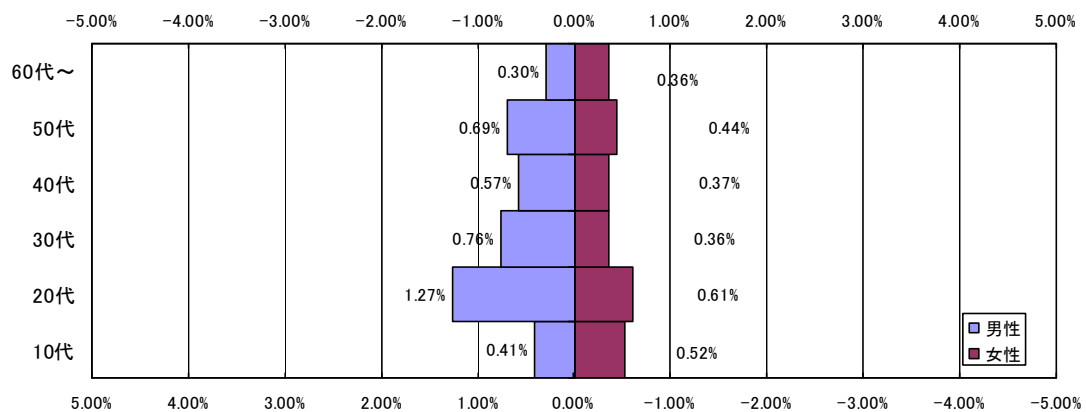
① テレビ n=822



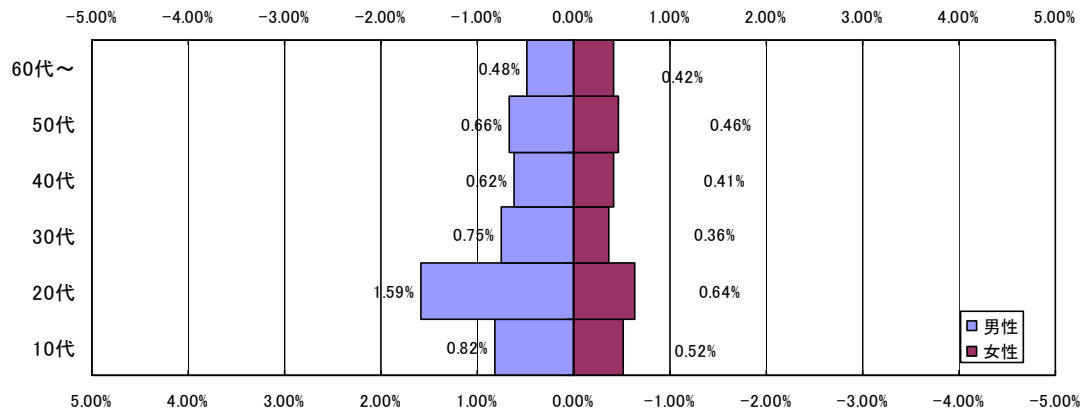
② エアコン n=259



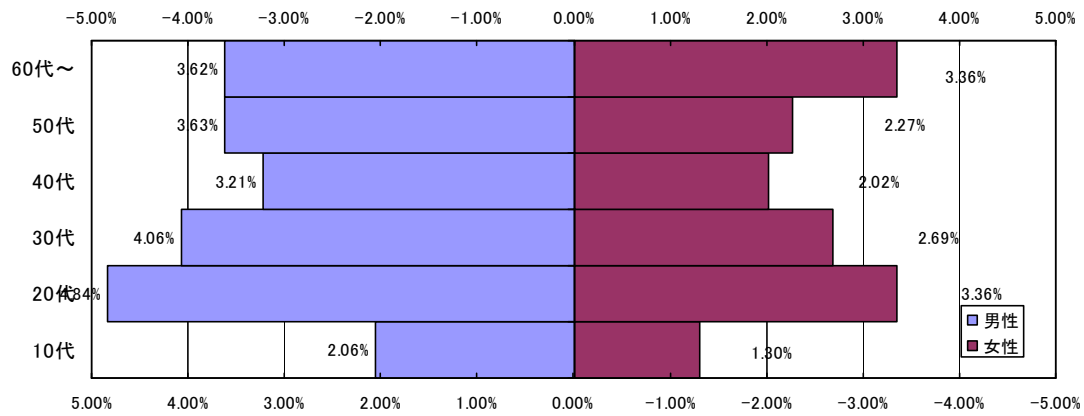
③ 電気洗濯機・乾燥機 n=470



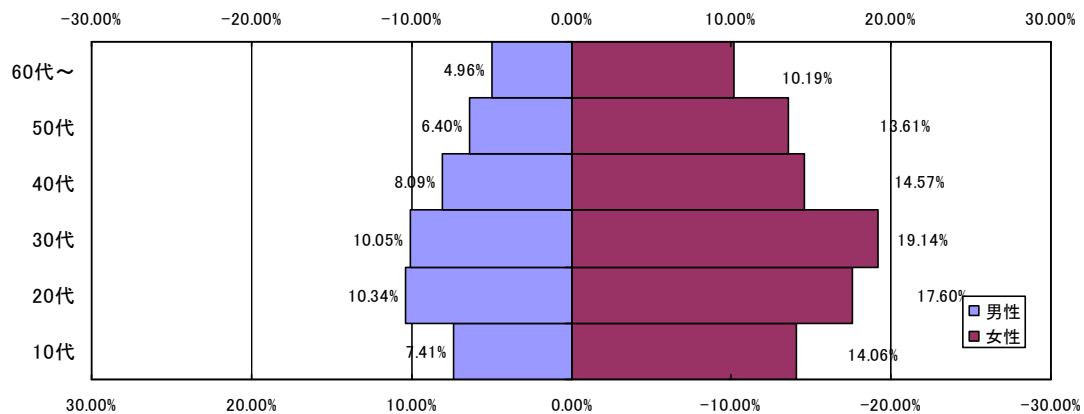
④ 電気冷蔵庫・冷凍庫 n=502



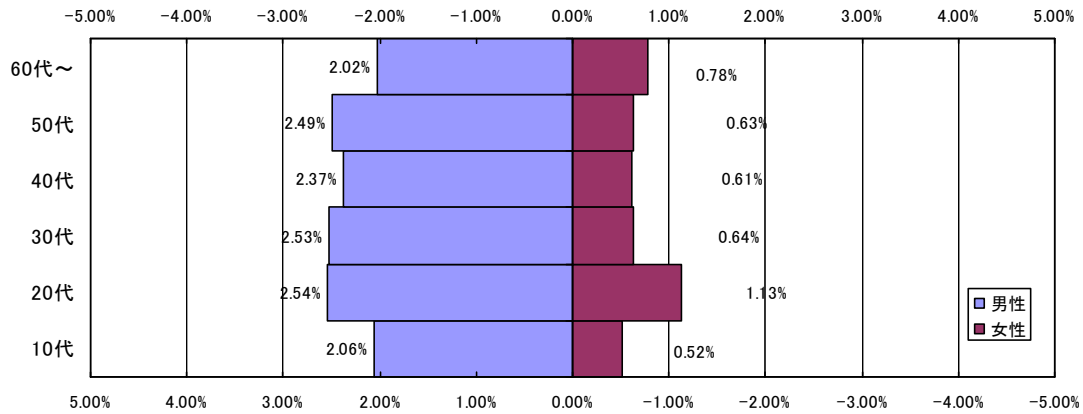
⑤ 家具 n=2,728



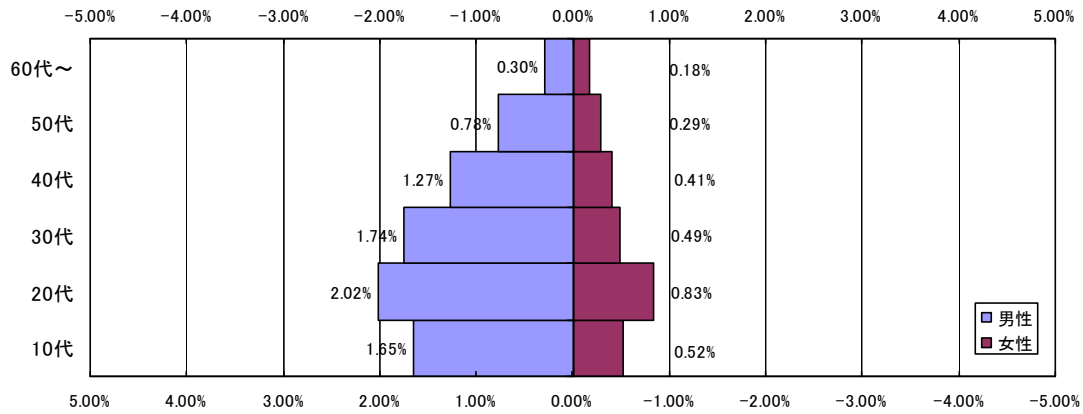
⑥ 衣類 n=10,076 ※数値軸は30%としている



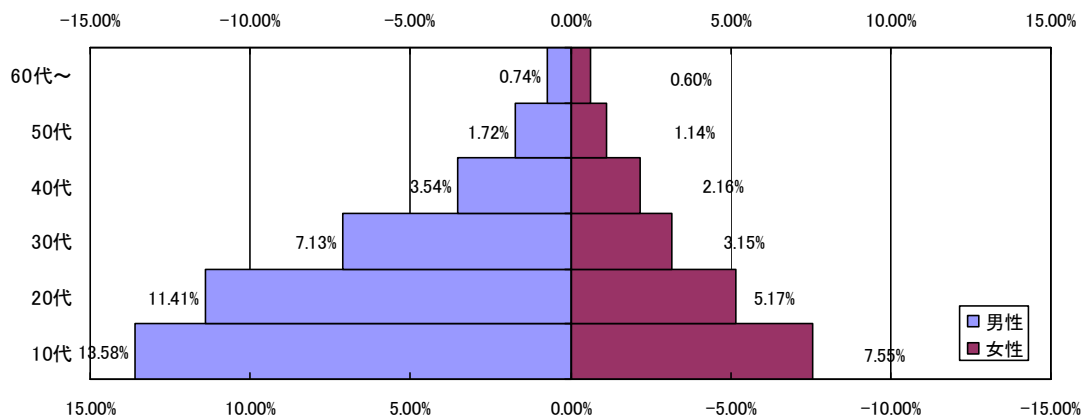
⑦ デジタルカメラ n=1,439



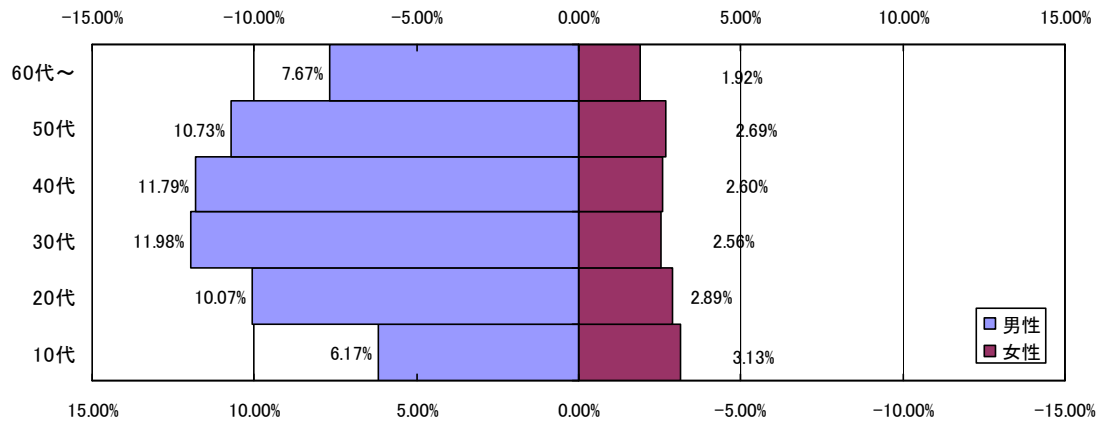
⑧ 携帯電話 n=768



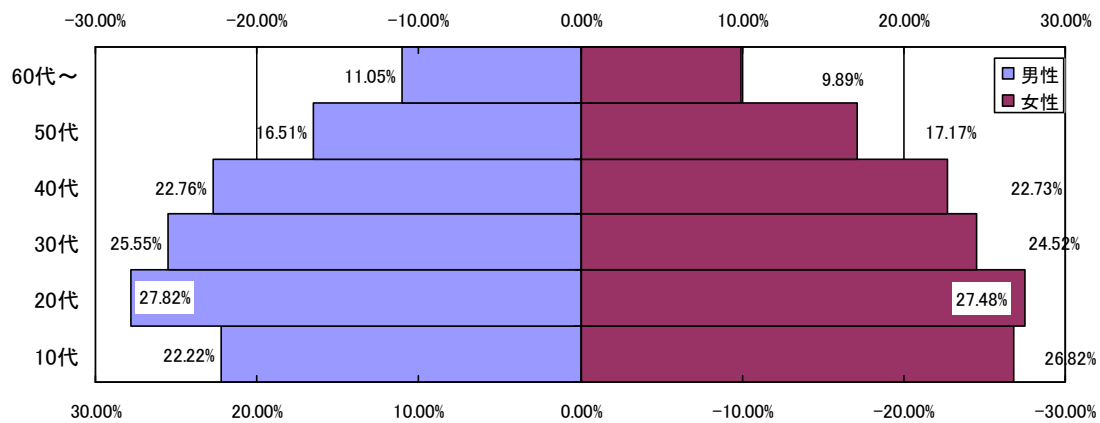
⑨ ゲーム機 n=3,065 ※数値軸は15%としている



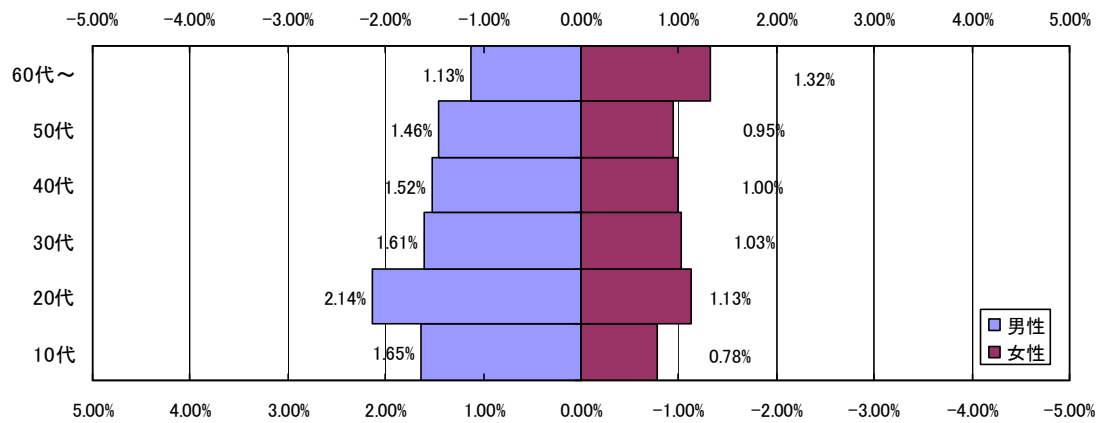
⑩ パソコン・周辺機器 n=6,394 ※数値軸は15%としている



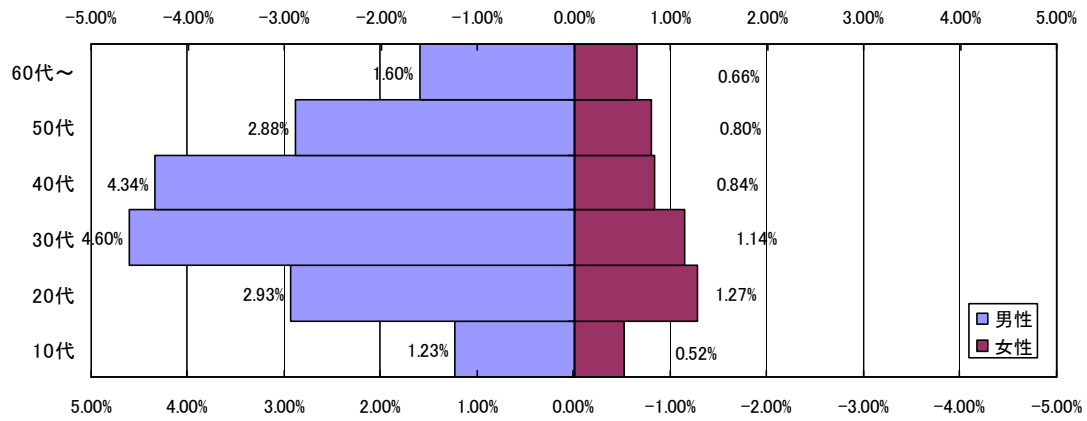
⑪ 書籍 n=18,886 ※数値軸は30%としている



⑫ 自転車 n=1,135



⑬ カ一用品 n=2,183



⑭ その他 n=13,061 ※数値軸は30%としている

